

# 花巻 歴史探訪

【問い合わせ】本庁文化課(☎23-52600)



## 旧小原家住宅

国指定重要文化財(昭和44年12月指定)  
(所在地 東和町谷内)



## 伊藤家住宅

国指定重要文化財(昭和51年2月指定)  
(所在地 東和町田瀬)

**旧小原家住宅** 旧小原家住宅は当地方の一般的な農家で、建築年代は構造手法などから18世紀中ごろと推定されます。この建物は、よせむねづくり茅葺の曲り屋で、たけゆき桁行八間(16.315メートル)、はりま梁間五間(10.5メートル)の主屋部に三間(5.75メートル)四方の馬屋を突出し、大戸口は突出部内側に作られたもの。突出部がとても小さなつくりの古い形態の曲り屋です。また、外まわりに壁が多いことや上屋柱の省略が少なく柱の太いこともこの建物の特徴です。一般に旧盛岡藩領の民家でも、旧仙台藩領に近い南の地域では建築に使う木材の質が良くなるといわれ、この建物もそれに当てはまります。この建物は曲り屋が発生したと思われる時期に作られた、曲り屋の発生過程をうかがうことのできる貴重な文化財です。

**伊藤家住宅** 伊藤家住宅は、旧南部藩領の最も南部に位置する地域の農家として、18世紀前半に建てられたものと推定される茅葺の建物です。その構造などには古い形式が残されています。建築当初この建物は、うちまや内馬屋を持つ直屋形式でしたが、19世紀中ごろに馬屋を突出部として増設し、曲り屋として改修が行われました。昭和53年、この建物の修理を行い、建築当初の直屋に戻しています。その際に馬屋部は撤去し、旧状を失わない納屋として近接に建てられました。